

知多市観覧会

行事名 変った生き物はいないかな

日時 2016年(平成28年)8月21日(日)

集合場所 寺本集会所 主催者 八幡生き物みどり保全会。

実施場所 野崎川中流域の上流

天気 晴れ曇り

参加者 (大人10名)(小人20名)

指導員 吉房 中井康夫 金内

内容

こんにちは今日は天気も良いみんな

元気良いザリガニ水深はおうむね300cm前後で上流へ下流

へとシーシージャゴ、ジャゴとたまあみをのどけば あーあいせだ

カメだ、あちこちで、ドジョウだ、ザリガニだ、おなんだ シジミだ、

あこれはなんだ ゲンコロウだ、元気い、ぱい、いいネ、笑顔が

ステキ、それにこの川では今まで見た事ないタイリクスズキ、ウキゴリスミウ

キゴリ、ゴクラクハゼなどおいた、タニシなどおいたりで良かった

みんなケガなどもなくて良かったです。以上。

観察出来た生き物は以下です

魚類 1.マハゼ 2.タイリクスズキ 3.ウキゴリ 4.ドジョウ 5.ゴクラクハゼ

6.スミウキゴリ 7.カダヤシは北アメリカのメダカです。外来種

貝類 1.マシジミ 2.カワナナ 3.マルタニシ 4.

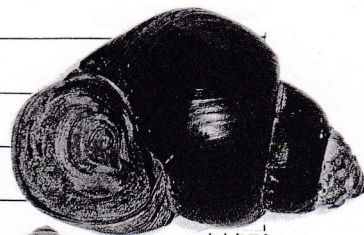
甲殻類 1.アメリカザリガニ→外来種

水性昆虫 1.ハイロゲンゴロウ 2.シカトンボヤゴ 3. (幼虫)

爬虫類 1.ニホンイシガメ→在来種

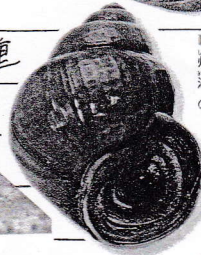
両生類 1.ツチガエル

その他



オオタニシ

■タニシ科 ■殻高6.5cm ■本州~九州
●わりあい水のきれいな川、田、湖、沼などにすみます。30~40この子貝をうみます。食用となります。



マルタニシ

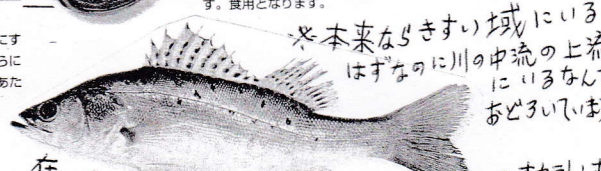
■タニシ科 ■殻高6cm ■日本各地 ●全国の田や沼にすみます。かわいた田のくぼみの中で冬をこします。30~40この子貝をうみます。食用となります。



→外来種

スクミリンゴガイ (ジャンボタニシ)

■リンゴガイ科 ■殻高8cm ■本州以南 ●南米原産、食用にするために、1981年に日本に持ちこまれました。養殖池からにげ出して各地の水田にすみ、イネの苗を食い荒らして害をあたえています。濃いピンク色のたまごをうみます。



在来種 ↑

タイリクスズキ (スズキ科)
沿岸の浅い海や、汽水にすみます。日本では、西日本の沿岸部で養殖されています。●80cm ●黄海、渤海沿岸~南シナ海 ●食用

シオカトンボ(幼虫)

〔マドヨウ〕



黒点がある

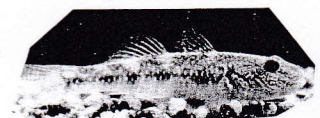


〔ウキゴリ〕

〔スミウキゴリ〕



(ゴクラクハゼ)



〔マハゼ〕



〔甲殻類〕〔アメリカザリガニ〕



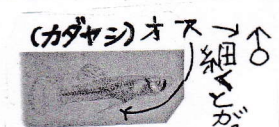
〔両生類〕 ↓

ツチガエル 無尾目アカガエル科
●体長37~53mm ●ロシア、海州南部から朝鮮半島 ●日本各地 ●青中にたくさんさんのイがあり、捕まえるといになおを出します。平地から低山地の水

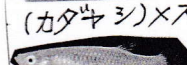


日本石亀も大型、小型かいます。

〔爬虫類 在来種〕〔ニホンイシガメ〕



(カダヤシ) オス ↑



(カダヤシ) メス ↓

♀メスはあなが大きくなり、黒点になって、生れる時はたまごではなく、魚になって生れる。



〔水性昆虫〕

ハイロゲンゴロウ 体長約14mm。全体に炭色がかって見える。前胸に横にならぶ紋や、前ばねの先の横帯などは黒い。形、大きさに変化がある。平地の池や沼、プール、貯水池、水田、小川などにいる。本州~沖縄。